



八千代市イメージキャラクター「やっち」

■教育委員会と秀明大学が協定

5月23日、市教育委員会と秀明大学が「相互協力に関する協定」を結びました。今後は、市内小中学校での教育的支援の一環として20年から行っている“ドリームティーチャー”へ大学生が積極的に参加することや、教育実習の受け入れ体制強化などの連携を深めていきます。



▲加賀谷教育長（左）と川島理事長・学長

バラをシンボルに交流の場を

緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ



5月25日、緑が丘ローズハーツふれあいフェスタに、約3,000人が来場しました。このフェスタは、市の花「バラ」をシンボルにして交流の場を作り、親睦を深めるとともに明るく健康的なまちづくりを目指して平成16年にスタート。模擬店やミニ動物園のほか、ステージでは19団体がギター

演奏やフラダンスなどを披露しました。10回目を迎えた今年も、メモリアルフェスタとして、八千代少年少女合唱団の合唱や八千代ふるさと音頭も実施。太鼓とともに馴染み深い八千代ふるさと音頭が流れると訪れた参加者も輪の中に入り、一緒に踊りを楽しみました。

▲八千代ふるさと音頭が流れると、子どもたちが率先して輪の中に

八千代市立図書館が文部科学大臣表彰

八千代市立図書館が「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けました。これは、市内4館で行っている子ども向けの「おはなし会」や幼児と保護者を対象にした「親子で楽しむ絵本の会」など、子どもたちの読書意欲を高める環境作りが評価されたもの。

今後も貸し出しだけでなく、本を好きになってもらえるような工夫を続けていきます。



▲親子で楽しむ絵本の会。大和田図書館では毎月第2水曜日に開催しています

鈴木省三さんの偉業を称え京成バラ園芸が新品種“ミスターローズ”を発表

故鈴木省三さんは、“ミスターローズ”の愛称を持つ世界的なバラのスペシャリスト。京成バラ園芸の初代研究所長を務めた鈴木さんは「日本から世界に誇れるバラを広めたい」との思いから、“天の川”や“聖火”など多くのバラを生み出し、国際コンクールで数々の賞を受賞しました。

▶大輪の花からはレモンのような爽やかな香りが



京成バラ園芸では、生誕100周年を迎える鈴木さんの偉業をたたえ、“ミスターローズ”という新品種のバラを発表。鈴木さんの遺志を継ぐ3代目育種家、武内俊介さんの作品で、当時流行していた剣弁高芯タイプの凛とした花形が特徴です。

鈴木さんの誕生日にあたる5月23日には、記念モニュメントの除幕式などが行われました。

リサイクル・ガイドを使ってみよう

子どもの成長に合わせて使わなくなったベビーカーやチャイルドシート、買ってはみたものの着ていない服などがタンスの中や押し入れで眠っていませんか。

リサイクル・ガイドでは、まだ十分に使える家具や電気製品、子ども用品などの有効利用を図るため、欲しい人とあげたい人の橋渡しをしています。

企業・団体を除く市内在住の個人ならどなたでも利用できますので、ご活用ください。詳しくは、消費生活センターへご連絡ください。電話は土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後4時までは☎485-0559へ。午後4時～5時は☎483-1151へ。

交渉は当事者同士で行い、結果は必ず同センターへ報告してください。

- 【あげます】▶三輪車(プーさん) ▶ストープ用ゲージ(白) ▶柵板ラワン材2枚/170cm×27cm×2.2cmと213cm×27cm×2.2cm ▶剣道着と袴(男女兼用)/165cm ▶シャツ2着・ポロシャツ3着(紳士用Sサイズ、長袖) ▶珠算塾用リュック ▶電子ピアノ(カワイデジタルピアノPW149) ▶ガラス製人形ケース/幅60cm×高さ40cm ▶本棚(スチール製5段)/幅88cm×高さ150cm ▶世界文学全集25巻 ▶ひな人形(ケース入り) ▶五月人形(ケース入り) ▶羽毛掛けふとん(シングル)

- 【ゆずります・有料】▶沖縄三線
- 【ゆずって・有料】▶男子学生服ズボン(冬用・黒)/ウエスト80cm以上 ▶女児用自転車/20インチまたは22インチ

八千代歌壇

八千代市短歌会選

風車回れよ回れ吹く風の暗さ明るさ交わるように

夕げぶる干潟漂う流木に降り立ちて鷺の白き一点
(緑が丘) 中野八重子

甘樫の丘を一気に登り来て畝傍耳成香真山見渡す
(大和田) 有里 侑起

地下走る車輪の軋み恂恂と響かせて闇へムクノの叫び
(八千代台北) 水野大佳代

耕され朝日うけいる黒き畑あがりし雨の息白く吐く
(八千代台西) 元村 泰介

春風と共に届きし一冊の歌集はわが背そと押しくる
(大和田新田) 増尾 克子

春眠の雨垂れの音ポツンポツン初めて習うピアノの音色
(八千代台北) 若菜 欽子

里山の風景残す新川沿い少年野球の声響き合う
(下市場) 村越喜美子

選評 一首目、風車は幼い日の思い出。軽やかに明るく

うたいだし三句目の吹く風に現実にも引き戻される。

さまざまに吹く風は触れる人の心を明るくも暗くもする。作者はひと色ではなく交わる様に吹いて欲しいというたう。一首目、なんと美しく結句の表現は作者の心が形になったものと思われ

る。三首目、作者の感動が読み手にも伝わり畝傍耳成香真山とひと息にうたい甘樫の丘を一気に登って来た心躍りが素直に表現

されていて歌は感動の深い所に生れるという言葉を実感する。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

姿見に背筋の曲り喝を受け 大和田新田 加茂 英代

ふる里の柱時計と欠伸する 大和田 阿部けいこ

今日も無事済んで心に福拾う 緑が丘 黒木 麗

言訳へ第六感がジワリ責め 大和田新田 矢澤 光江

妻と母の間で揺れるやじろべえ 村上 福田 秀夫

別れても表札だけは同居中 緑が丘 日名 光一

退院へ構想を練る庭造り 萱田 内田ちはる

まいうーと言った行列して食べた 勝田 宇都 表